

# 強者の戦略

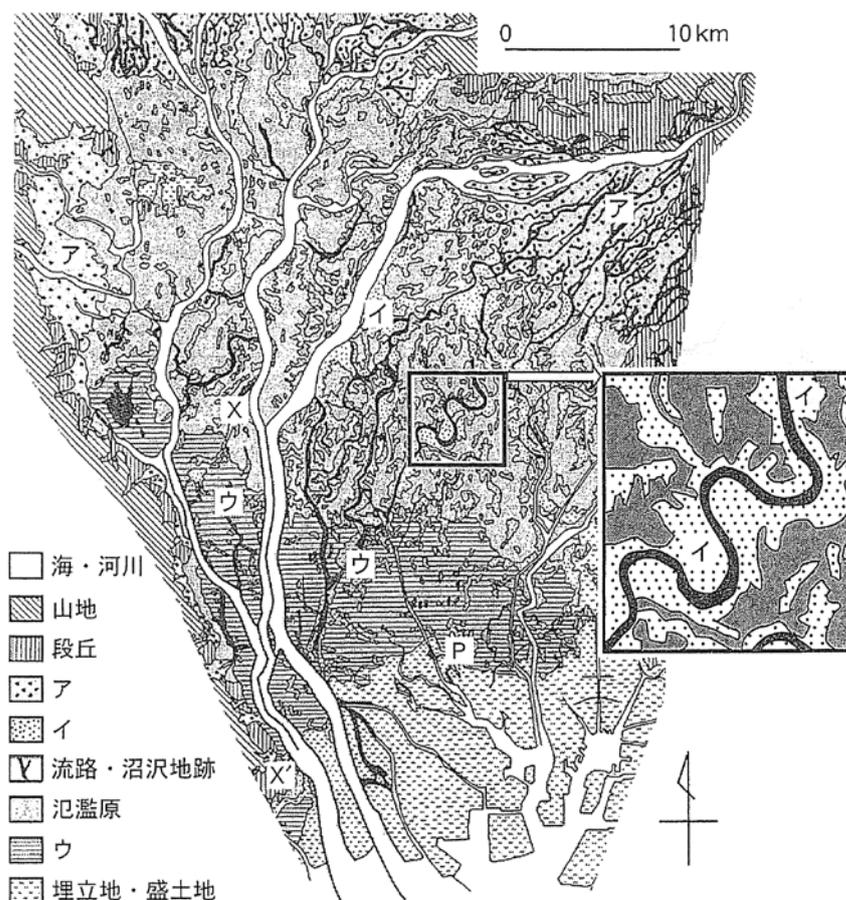
【2016年度 東大地理 第3問】

日本の都市、環境と災害に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

## 設問 A

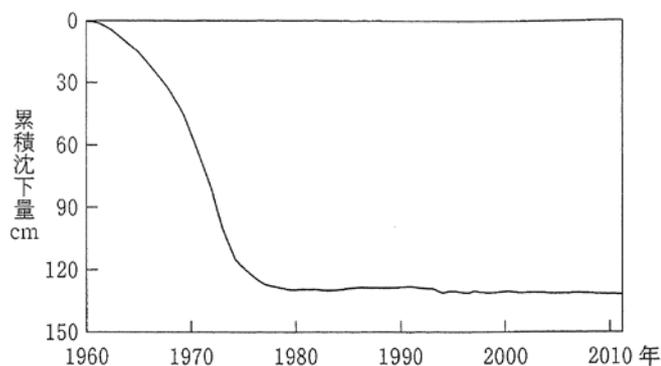
次の図 3-1, 図 3-2 は、都市の環境と災害に関するものである。

図 3-1



桑原1975にもとづく。

図 3-2



関係行政機関資料による。

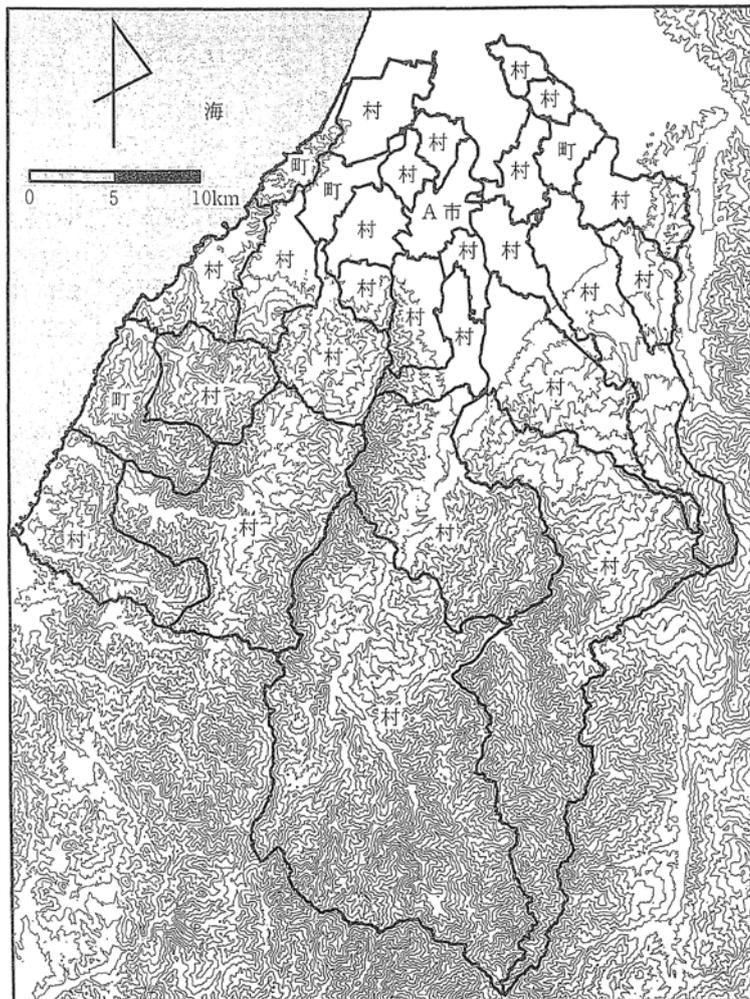
# 強者の戦略

- (1) 図3-1は平野の地形を分類した図である。ア～ウに該当する地形名称を、ア～オのように答えなさい。
- (2) 図3-1中のXからX'にかけては、複数の河川を合流させず、流路が直線状になるように整備している。その目的として考えられることを、1行で述べなさい。
- (3) 図3-2は、図3-1中の地点Pにおける1960年以降の累積地盤沈下量を示している。地盤は1975年頃まで沈下した後、安定している。沈下の理由と安定化した理由を、その社会的背景とともに、あわせて2行以内で述べなさい。
- (4) 図3-1中のウの土地は、どのような自然災害に対して脆弱であると考えられるか。例を2つ挙げ、それぞれの被害軽減のための有効な対策とあわせて、全部で3行以内で述べなさい。

## 設問 B

図3-3および図3-4は、昭和と平成の2度の市町村合併を経験した地方都市A市およびその周辺地域に関するものである。

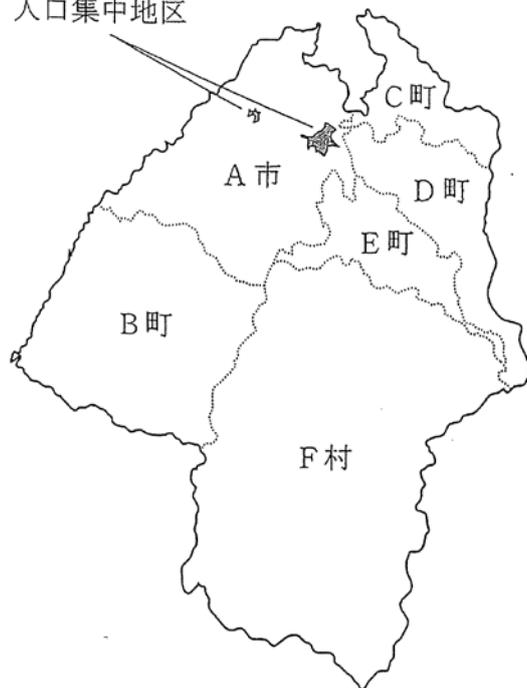
図3-3



1950年時の市町村境界

# 強者の戦略

図 3 - 4 1965 年時の人口集中地区



1965 年時の市町村境界

2010 年時の人口集中地区



2010 年時の市町村境界

- (1) 図 3-3 および図 3-4 をみて、1950 年当時における、A 市および山間部の村の、それぞれの境界設定に用いられていたと思われる考え方を、あわせて 2 行以内で述べなさい。
- (2) 図 3-4 では、1965 年と 2010 年の間に A 市の人口集中地区(原則として、人口密度が  $4,000$  人/ $\text{km}^2$  以上で  $5,000$  人以上の規模を持つ地区)の面積は 3 倍弱になっているが、人口は約 30% しか増加していない。その理由を、2 行以内で述べなさい。
- (3) 2010 年時には、行財政の効率化などを目的として A~F の 6 市町村が合併し、新 A 市が形成されている。この合併によって新 A 市域内の山間部で発生する可能性があると考えられる行政上および生活上の問題をそれぞれ 1 つずつ挙げ、あわせて 3 行以内で述べなさい。